

大總指第九百二十三

指 示

大總指第九百七十四號ニ基キ左ノ如ク指示ス

- 一、南西諸島及臺灣方面作戰準備ノ爲第三十二軍司令官及臺灣軍司令官ノ準備スヘキ「十規作戰準備要綱」冊ノ如シ
- 二、防衛總司令官、支那派遣軍總司令官、第三十二軍司令官、臺灣軍司令官ハ防衛情報ノ迅速ニ傳シ密ニ協力スルモノトス
- 三、航空作戰實施ノ爲防衛總司令官、支那派遣軍總司令官、第三十二軍司令官、臺灣軍司令官ハ互ニ他ノ作戰地域内ノ航空基地ヲ使用スルコトヲ得

昭和十九年三月二十二日

2

72

大正九年九月二十二日

十
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

大正九年九月二十二日

2365

3
73

目次

第一 方 津

第二 葉 函

一 航 經 作 變 時 際

二 地 上 兵 力 ノ 運 用

三 兵 站

四 通 信

五 給 糧

2366

74/4

十 鐵道建設の要綱

第一 方針

一、後進國及び第三十二條へ南陸ノ陸上交通及南方河川トノ交通確保ノ
 爲ニ鐵道ト建設シテ後進國ノ反動ヨリ南陸ノ交通ヲ確保スルニ
 化シ以テ先ツ後進國ノ交通ニ資アルト共ニ南陸ノ交通ニ資スル
 爲ニ鐵道ヲ建設シテ後進國ノ交通ヲ確保ス

(一) 企業建設上ノ重要事項ト爲ラス

二、本邦或は海外ノ交通ノ要路トシテ建設ノ必要アリ

三、本邦或は海外ノ交通ノ要路トシテ建設ノ必要アリ

ハ十九年七月ヲ目途トシテ之ヲ完成ス

第二 種類

一、鐵道建設の要綱

1. 鐵道建設の要綱ヨリ南陸ノ交通ヲ確保スルニ資スルニ
 爲ニ鐵道ヲ建設スルニ資スルニ

5

力強クセル故前ノ飛行機ヲ以テ編成スルヲ急要視シ之ヲ基盤
トスル航空作戦ノ遂行ヲ早急ナラシム

ハ作戦準備ノ規程ハ國體警察・海軍軍部（八島川別府航空隊）等
一併上約一飛行機ノ運用及作戦ヲ可能ナラシムルヲ急要トス

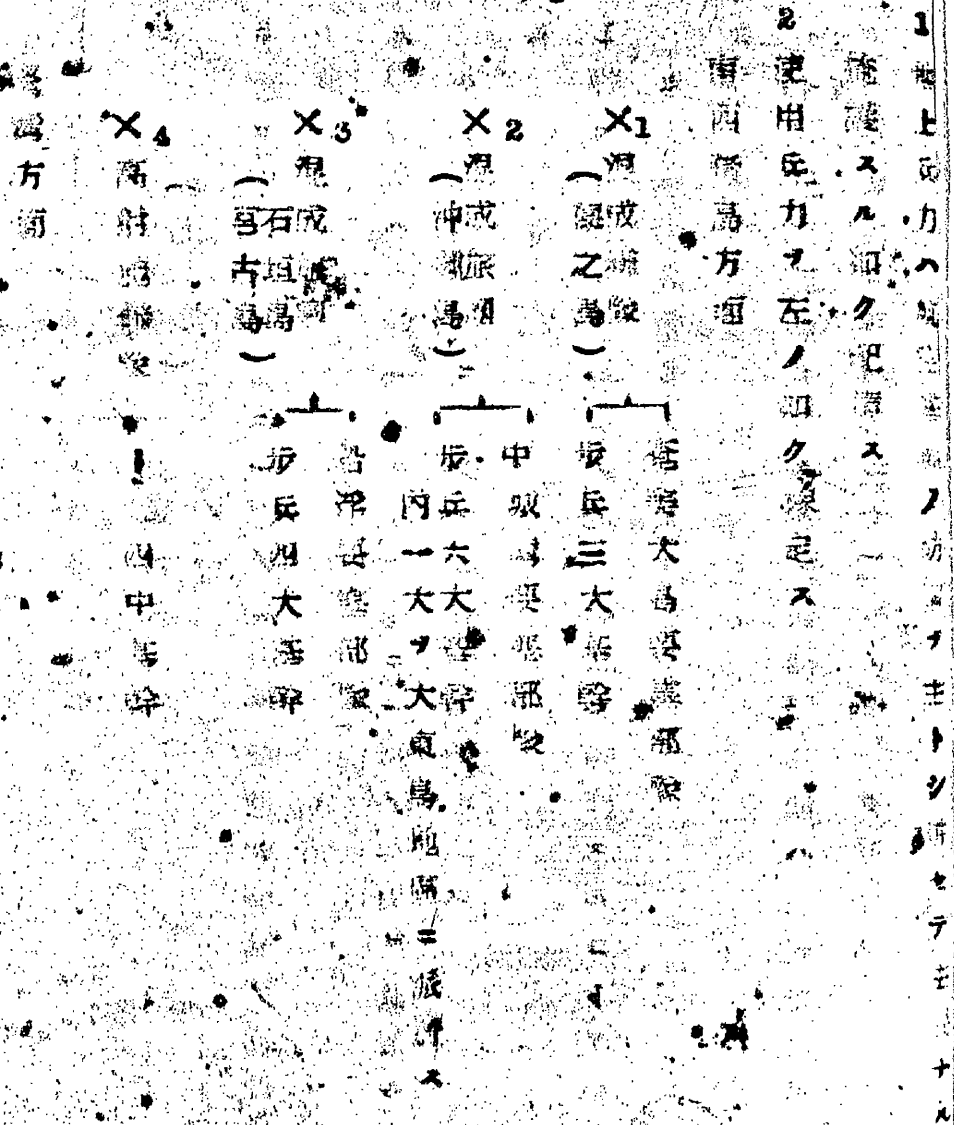
2 航空基地設置ノ一考洲底第一ノ如シ

3 航空基地ノ選定ハ海軍省場ニ在リテハ第三十二軍・海軍ニ任
テハ海軍省場ニ任スルヲ急要トス

4 航空基地選定ニ方リテハ各基地選定ニ先ツ該心飛行機ノ選定
ス

5 航空機材ノ整備ハ七月迄ニ約二飛行機四日分次テ約一飛行機
日分ト決定ス

六 航空兵力ノ運用



三 兵 站

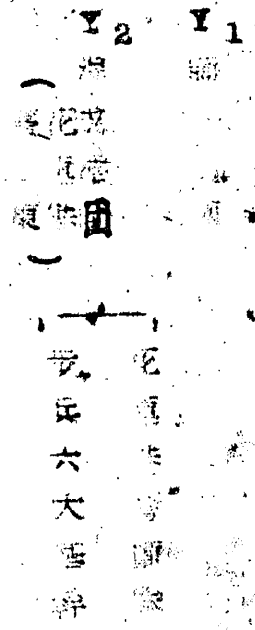
1 等ニ航空作戦機ノ駐屯立ニ加スルコトヲ第一トシ并
 テ予備地自給支ノ向上ヲ期ス

2 期 全

(イ) 第三十二軍ニ對スル主要部隊機ノ見地及運送トシ西
 軍及兵站ノ第三十二軍ノ兵站ヲ設ケス

3 選ニ大連海地等ニ一部ノ兵力ヲ派遣シ海軍ノ防備及機行助
 力ニ協力ス

4 海軍軍艦隊一艦タン一機ニ一部ノ兵力ヲ派遣シ之ヲ防備ス
 ルト共ニ所屬ニ選シ機地機行助ヲ兼務ス



(ロ) 主として陸軍ハ軍用シテ海軍ハ軍用シテ空軍ハ軍用シテ

ハモ小規模陸軍ヲ用シ海軍力ニ劣リ空軍力ニ劣リ

大東島方面ニ對シテハ兵力ノ不足及諸初陣行スル年計ノ陸軍

ハ尙舊リ陸軍ニ於テ是任ス

(ハ) 軍用兵器製造工場主左ノ如シ(既述諸工場)

軍用兵器製造工場主左ノ如シ(既述諸工場)

防空兵器製造工場主左ノ如シ(既述諸工場)

海軍要港火藥製造工場主左ノ如シ(既述諸工場)

航空兵器製造工場主左ノ如シ(既述諸工場)

燃料兵器製造工場主左ノ如シ(既述諸工場)

航空兵器製造工場主左ノ如シ(既述諸工場)

航空兵器製造工場主左ノ如シ(既述諸工場)

(大東島六箇月分)

送

航空兵器製造工場主左ノ如シ(既述諸工場)

7-

- トシ前均集積其運送ノ旨目迄ヲ七月末トシテ管財機關ヲ是
- ス
- 但シ航空燃料ノ半額ハ海メテ海ニ搬送準備ス
- 諸施設ノ實施
- (イ) 施設實施ノ要請ハ航空燃料ノ整備トシテ努力及加増費用算ノ大
- 部ヲ之ニ指河シ無遺憾ニニ費額十カラシム
- (ロ) 諸施設ハ港當リ既存施設ノ最大限活用ニ依ルモ補給品ニ
- 關シテモ航空燃料ノ搬送ニ即興スル如ク是ニ之ヲ搬送シ給當
- 能率ノ發揮ニ由ム
- (ハ) 陸上交通路ノ施設ハ努力ノ状況之ヲ許スニ依ヒ逐次實施スル
- モノトシ當初ハ主トシテ小略案ヲ以テスル沿岸交通ニ依ル
- (ニ) 人員資材收容施設ハ既存民間施設ヲ最大限活用シ其進ハ取敢
- ヘス天幕及雨野ニ依ル
- (ホ) 諸施設實施ニ方リテハ當初ヨリ陸路交通ノ確保、地形ノ

(ハ) 施設用資材（木材、代用「セメント」、石材其他）、勞力及局地輸送力への助メテ之ヲ現地ニ求ム
 〇 現地自活其他

(イ) 南西諸島自給率ノ現況ニ據キ軍民兩方合セハ食糧自給ノ適
 量ヲ勞力ニ促進ス

之カ爲計画、蔬菜ノ大量栽培、蠶絲等現地行政組織ヲ進シ
 促進スルト共ニ軍自給勞力ニ之ヲ遂行ス

(ロ) 島嶼其他ノ修理・簡易ナル資材ノ修繕等ニ備シテ九州及
 臺灣ノ土産力ノ利用ニ進ム

(ハ) 南西諸島及臺灣領部ニ於ケル航空、防空、郵便施設ノ進歩
 ニ準ヒ寫シ得ル限り臺灣内地同ニ於ケル航空及小略規則

用ノ人員切替交配ヲ是儘シ進歩之ヲ比爲ス個人地方同ニ充
 充ス

(ニ) 後者ハ現地治政ヲ不測トス

- 1 航空機力ノ發達ニ主トシテ是ニ對シテ及陸軍航空機ノ發達ヲ促シシメテ其ノ力ヲ増進スルニキヒ通商手帳シテ其ノ發行ニ對シテナカクシム
- 2 第三十二軍及陸軍軍ノ陸軍通信機ハ別紙第三十三ノ目ニ示ス
- 3 第三十二軍ハ防空情報ノ伝達及陸軍ノ通信機ノ利用及ニ軍ニ支那軍機ノ第十軍機ノ在内地各軍ノ發達セル防空情報ノ發送ヲ請取スル外並ニ其ノ日米送ニ軍ニ於テ防空情報ノ發送ニ關係ス
- 4 通信機ノ設置ニ伴フ通信機ノ運ニ關係ス
- 5 通信機ノ設置ニ在リテハ主トシテ無線ニヨル外並ニ陸軍機ノ利用シ又海軍内及航空機機内ニ在リテハ主トシテ有線ニヨル
- 6 通信機ノ設置ニ伴フ通信機ノ運ニ關係ス

器材ノ修理ヲ圖ルモ修理所並ニ修理費ノ算定及航空基地内通
信施設ハ作戦上ノ要求ニ應ジ所算ノモノヲ新設ス

通信施設ニ際シテハ通信法ノ改革及ニ無線機ノ活用ニ由
リ企業ノ暴落ヲ防止ス

主トシテ航空基地内無線通信機材等ニ一部ノ修繕費額ノ
補綴ノ爲中央交付ノ算入材料左ノ如シ

第三十二號 七月迄ニ迄次 約 四〇〇千

十九年末頃迄ニ迄次 約 一六〇〇千

七月迄ニ迄次 約 二〇〇千

十九年末迄ニ迄次 約 六〇〇千

防空警報放送送信機材等ノ爲中央交付ノ金額受領額(修理費等)
左ノ如シ

第三十二號 十五

一〇

通信機材等ノ修理費等ハ左ノ如シ

9

維新用乾電池、廣運管、九年七月迄、ニケ月分

九年未可、六ケ月分

南大東島、打瀬島等港ニ交通不便ナル地域ニ付シテハ、海防ヨリ、六ケ月分ヲ準備ス

10 呂宋級無線機用銅板及水当片ノ配當左ノ如シ

第三十二軍 第一 區甲 乙 各一組

臺灣 乙 中内 區甲 乙 各一組

五 給 領

1 海軍地ノ設定ハ軍ノ責任トシ、海軍司令官之ニ當カス

2 海軍地ハ各ニ航空基地ノ配置ニ關係スル如ク之ヲ設定シ以テ

航空基地ノ設定ハ、必要ニ於ケル海上備置ニ對シテナカラム

3 海軍地ノ設定ニ方リテハ、航空機下ニ於ケル揚陸能力ノ準備及

揚陸機ノ第一要トシテ施設ス

4 新海軍地設定ノ開始ハ、西諸島トシテ、九州地區海軍地ハ

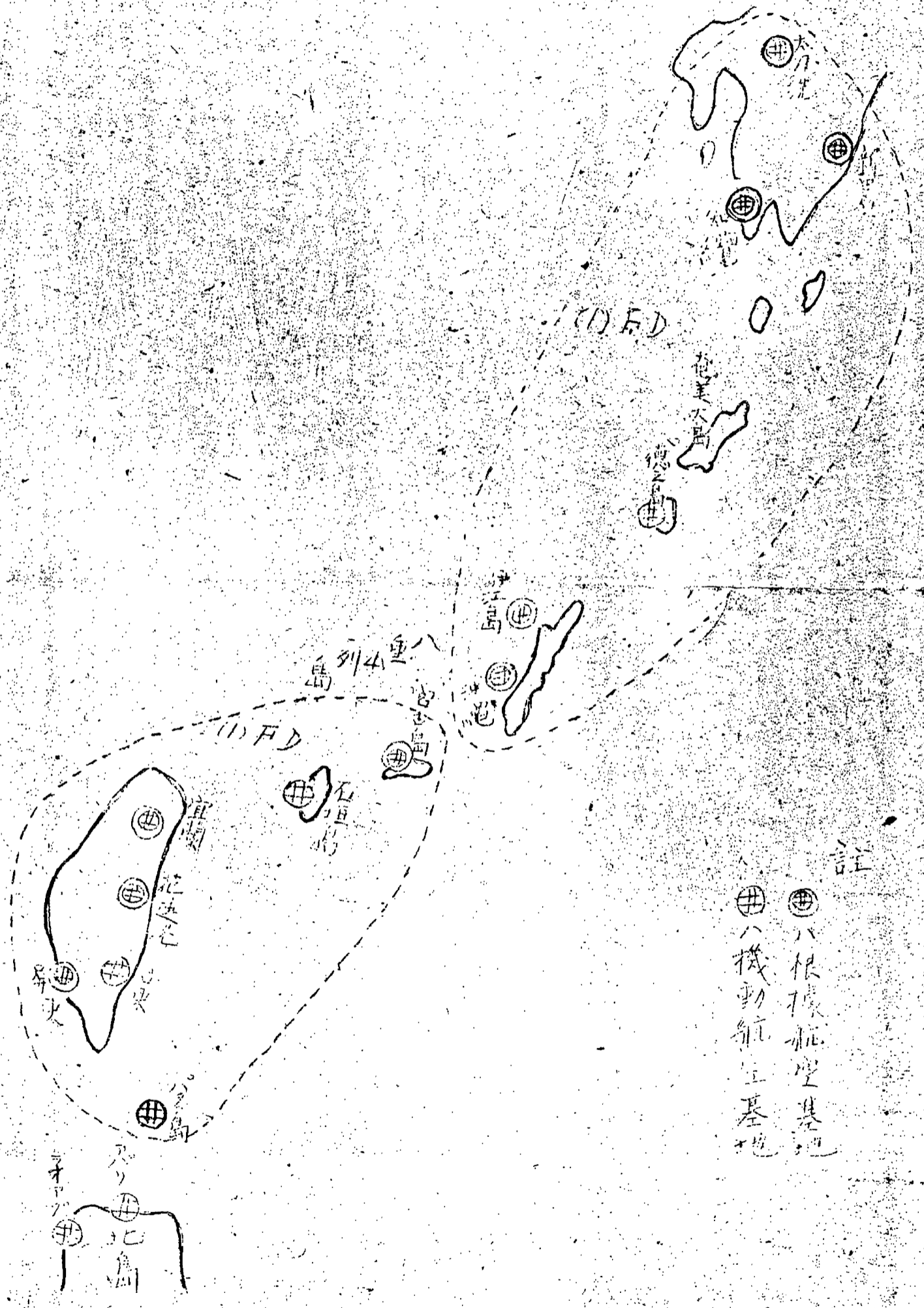
陸軍ヨリ預見ノ地トス

西面海島... 定計... 第四ノ如シ
 港灣ハ善... 施設トシ... 下ニ於ケル至短時... 大
 能力發... 主トシ狀況ノ許スニ至ラハ速ニ増...
 第一船... 司令部ノ支部ヲ... 船... 船... 船...
 石垣島・大東島ニ各出張所ヲ配置ス

第一、置配地陸空航航

別紙第一

2378



註

⊕ 八根據航空基地

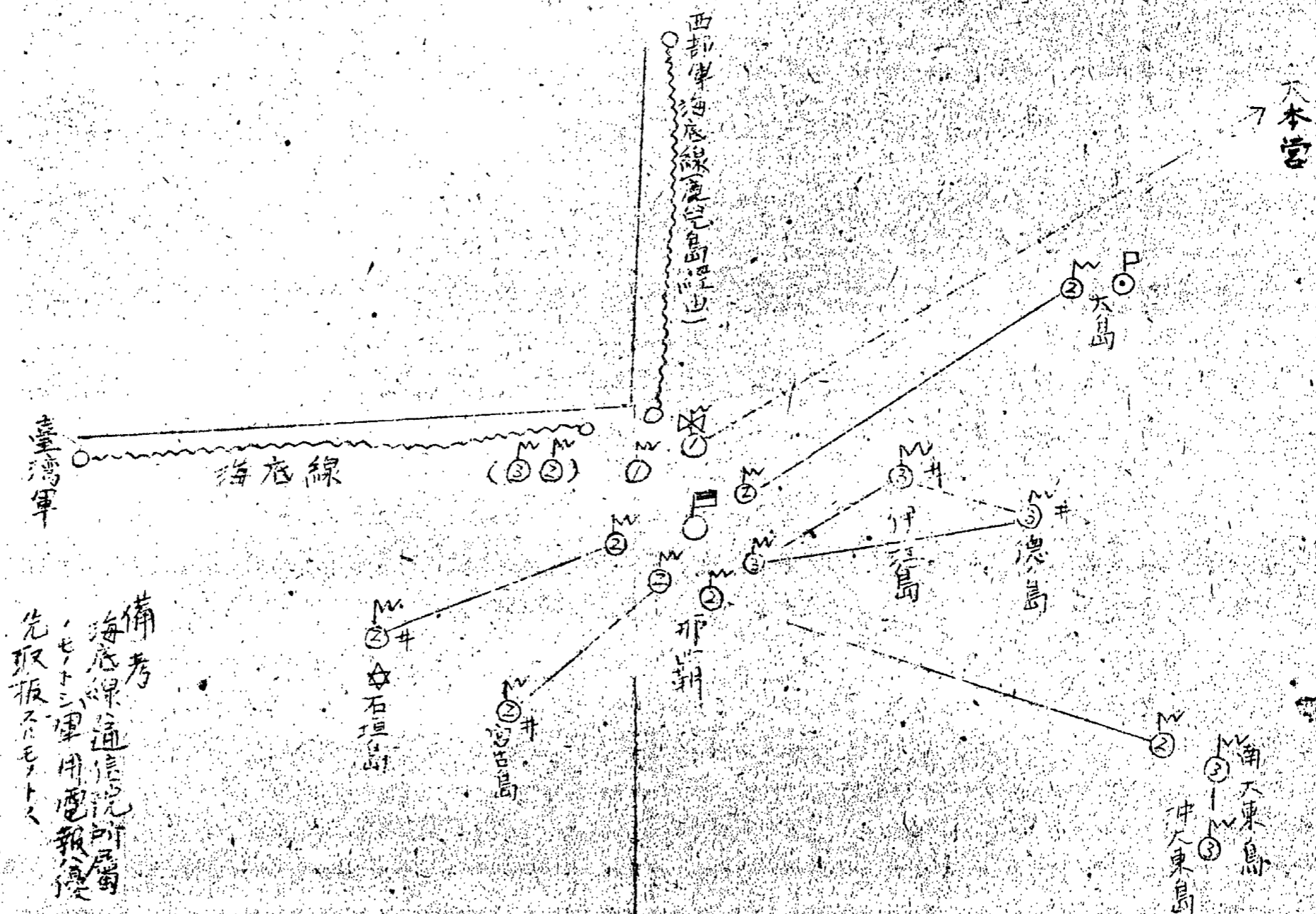
⊕ 八機動航空基地

25

10

第三十二軍幹通網 (先取板石、取取)

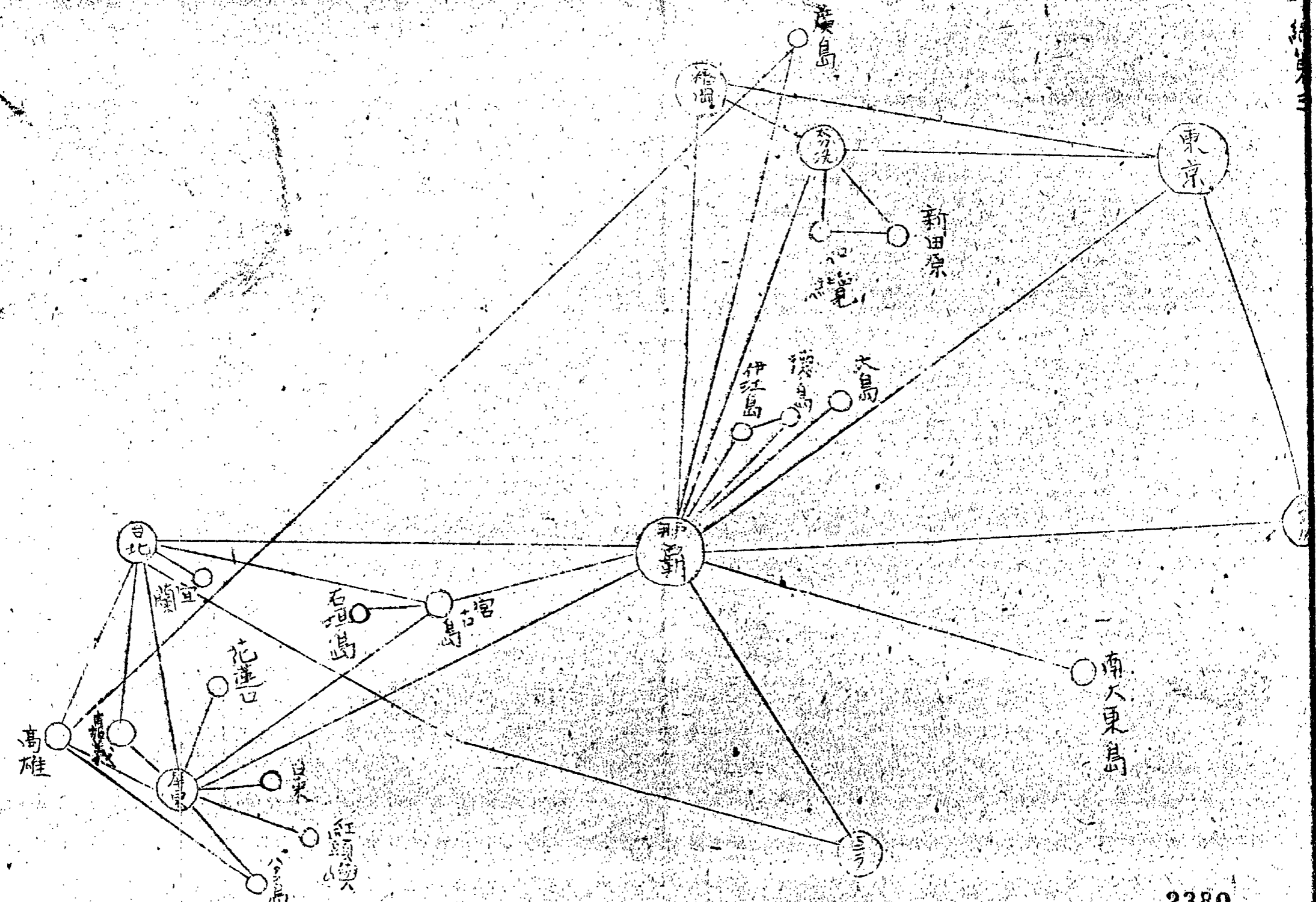
別紙第二



備考
 海底線通信網所属
 七十三軍用電報機
 先取板石、取取

2379

南洋諸島臺灣牙直骨幹通信網



石垣島	宮古島	沖繩島	伊江島	隠之島	地 區
10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	日 切 切 切 切 切 電 電 電 電 電 線 線 線 線 線 電 電 電 電 電 力 力 力 力 力
2500	2500	2500	2500	2500	給 給 給 給 給 力 能 水 油 炭 設 施 理 修
利用増強ス 兵站兼施設ヲ 計略スル海路 船泊司令部ノ					明 時 成 登
十 九 年 六 月					陸 部 任 命
第 三 十 二 号					要

南西新島海運施設定計畫

19

89

大正九年九月二十四日

東 沖 島 大	東 京 都 府	南 九 州 州
現 施 設 利 用	現 施 設 利 用 (但シ新橋 橋へ遷カニ新 設ス)	現 施 設 利 用

本館規程 B-4

2382